

第3回 三種町総合教育会議議事録

- 1 開催日時 平成28年3月22日（火）午後2時
- 2 開催場所 琴丘地域拠点センター、小会議室
- 3 出席者 三種町長 三浦 正隆
三種町教育委員会 委員長 堀田 キミ子
教育長 鎌田 義人
委員 嶋田 博光
委員 水野 京子
委員 佐々木 孝一
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 総務課長 木村 信悦 総務課長補佐 石井 靖紀
行政係長 清水 真
教育次長 嶋田 仁 生涯学習課長 後藤 誠
総務学事課長 小林 あづさ
- 6 内 容

午後2時開会

木村課長 本日はお忙しいところ会議にご出席下さいまして、ありがとうございます。
うございました。

それでは、只今から第3回三種町総合教育会議を始めます。
開会に当たりまして、町長から挨拶をお願い致します。

三浦町長 はい。皆さんこんにちは。

年度末のお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。
今日は町の方で、人事異動の内示がありまして、教育委員会関係ですと、嶋田次長には長らくご難儀をお掛けしておりましたが、この度退職ということでございます。また、新採用の職員が2人配置となっております。この他数名の異動がありましたが、どうかよろしくお願いしたいと思います。

さて、今日は、先般ご確認いただきました三種町教育大綱で
ございますけども、その後皆様からご意見をいただきまして、
字句の修文等あったように思いますけども、今日は、最後の検
討会をしていただきまして、また、教育委員会の方からは、
先般の小中学校の今後の在り方に関しての意向調査について中
間報告があるようですので、併せて協議していただきたいと思います。
と考えております。正味1時間位になると思いますが、よろしくお

願い申し上げまして挨拶と致します。

木村課長

ありがとうございました。

続きまして、教育委員長からも挨拶をお願い致します。

堀田委員長

はい。皆さんこんにちは。

町当局におかれましては、日ごろ学校教育そして社会教育にご理解とご協力をいただきまして、本当にありがとうございます。

先般卒業式に参加する機会がございましたけども、山本中学校、浜口小学校とも、とてもすがすがしい卒業式で感銘を受けて参りました。学校一丸となって子どもたちを教育している、その様子を伺って参りまして、大変うれしく思ったところです。他の学校の子どもたちも、無事に進学できたのではと喜んでいるところであります。高校入学試験等もありましたけども、それぞれの子どもたちが元気に歩いていくことを願っております。

今日の会議の教育大綱でございますけども、先ごろ私たちが話し合ったこと、各委員さんから要望されたことなどが網羅されているなと思っております。

この後、町の教育がスムーズに運ばれるように願っております。よろしくお願いします。

木村課長

ありがとうございました。

それでは、これ以降の進行は、町長をお願い致します。

三浦町長

それでは、次第の4番の議事録署名委員の指名でございますが、私の方で指名させていただいてよろしいでしょうか。

(「はい。」の声あり。)

三浦町長

はい。そうすれば、水野委員をお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

水野委員

よろしくお願いします。

三浦町長

5番、協議事項でございますけども、(1)の教育大綱(案)に入りたいと思います。

前回お渡ししていますし、皆さん中身に目を通されたかと思いますが、改めて気になったところがございますたら、お話し願いたいと思います。嶋田委員から、いかがでしたか。

嶋田委員

確認してきました。委員長の言った通りですが、私共の考えたこと、それが網羅されております。これで問題無いと思います。

三浦町長

言い回しだとか、字句の修文とかよろしかったでしょうか。

嶋田委員

まち・ひと・しごと創成会議に関係することですが、若い人たちに地元に着定してもらう必要がある。そういう意味合いか

ら、地域のことを良く知ってもらって、郷土を愛する気持ちを持って、例えば伝統芸能などを引き継いでいってもらおう。若い人たちが地元に残りたいと思うようなまちづくり、ふるさと教育が必要だと思いました。大綱の中にもそれらしきことが書いてあります。

三浦町長 今回、教育委員の皆さんにも配付されていると思いますが、「私たちの三種町」という副読本がございます。

鎌田教育長 この後、定例会で配付する予定です。

三浦町長 今までと違ったもので、サイズも変わりました。

鎌田教育長 サイズも変わりましたし、中身の方もかなりページ数も増やして、今嶋田委員がお話したように、ふるさと教育を進めていくということで、三種町のまちづくりに大きく寄与した先人の紹介をたくさん入れております。子どもたちに良く知ってもらおうということで、社会科の先生方に特にお願いして作ってもらいました。この後の定例会で説明したいと思います。

堀田委員長 それについてですけども、先般、教育長さんが各校長先生に、機会を捉えてふるさとの先人について指導するようにとおっしゃって下さっているのですが、浜口小学校の校長先生が卒業式の折にも、どんなふうにしてメロンの栽培をするようになったかということで、先人の努力について話されていました。

各学校に行くと、校長先生がご自分の授業という意識で、かなり詳しく教えているようですし、子どもたちも学習してきていると思います。これを継続していけば良いと思います。

三浦町長 そうですね。去年、八竜中学校の40周年記念のときに、子どもたちが自分たちで調べたものをスライド上映したのを見たのですが、だいぶ良く調べているなど。我々の知らないこともかなりありまして、今回「私たちの三種町」の中には、これまでの倍くらいの人が入っておりますね。

鎌田教育長 旧町時代、3町に1冊ずつあったんです。それで「私たちの三種町」を作るときに、あまりにもページが増えるということで、かなり絞って作った経緯があります。今回はみんな入れてページ数を増やしてあります。

三浦町長 大変良いものが出来たと思っております。

嶋田委員 先人と言われる人はたくさんいると思うんですけども、それを教える先生方が地元の方でない場合もあります。勉強していただかなければいけないのでしょうか。

三浦町長 ちょっと視点は違うかもしれませんが、じつは3月の定例議会で、議員さんから、町の方では子ども議会をどういう気持ち

でやっているんですか、という質問がありました。

これに対して、目的は2つあると。1つは子どもさん方に地域課題を自分で調べてもらいたということ。もう1つは先生方が地域課題をきちんと知らないと教えることが出来ない。町の総合計画などを先生方が読む、このことが前提になります。それを理解して、こういう課題がありますよと助言しなければいけない訳ですから。中央学区から来ている先生もおられますよね。そういう意味で、こちらに来ている先生方に地元のことを知ってもらうことも1つの目的としています。最近はかなり鋭い質問が来るというのも、良く勉強されているからだと思っています。

鎌田教育長

今のことに關してですが、4月の始業式が始まるまでに、その地区を先生方で巡って下さいと。そして、どういう地区から子どもたちが来ていて、どういう所で生活しているか十分に知って欲しいということで、町の学校管理規則を1日延ばしたんです。4年位前に始業式、終業式を後ろに1日ずらして、地域巡りということで、1日設けて実施するように学校に話しています。

今、町長が言われたように、知らなければ教えることが出来ないということで、先生方にはお願いしてあります。

三浦町長

子ども議会は、校長先生方にとっても大変難儀なものだと思っていますが、逆に先生方がこの地域を知るきっかけになればと思っています。

その他、小説などに、三種町というか旧3町が出てきている場面があるらしいですね。

北条常久先生は、水野委員の先輩ですよね。北条先生から伺ったんですが、渡辺喜恵子の「タンタラスの虹」。高井有一の小説にも三種町のことが出てくるんですね。それからイザベラ・バード。明治10年頃のイギリスの紀行作家ですけども、豊岡のある地主さんの家に泊まったという記録があるんですね。40人位地元の人が集まって「見せろ、見せろ」と。そうしたら、障子がバタッと倒れたというようなこともあったらしいですけども。たぶん信太儀右衛門さん当たりじゃないかと思いますが、もっと調べていくと、色々出てくるんじゃないかと思うんですね。

佐々木委員さんは、何かございませんでしたか。

佐々木委員

非常に良く出来ていると思います。幼児教育のところでは「少子化、核家族化や共働き世帯の増加による家庭の養育機能の低

下」とあります。正にその通りだと思うんです。付け加えて言えば、ひとり親世帯が増えてきていますので、それも1つ対応として必要かなと思っています。

三浦町長　ひとり親世帯の話が出ましたけども、新年度から資格取得に対して援助を行う制度を設けるんですけども、そういうことも含めて半額助成を行うことにしています。本町で大体10%位がひとり親世帯と聞いています。

佐々木委員　保育園の段階でもかなりの世帯がありますが、小学校の段階でひとり親世帯になる場合もあるでしょうから、10人に1人ということは、1クラスに2人はいるということですね。

堀田委員長　これは子どもの貧困に直結する問題ですから。親の意識が特に大事で、親次第で子どもはいかようにも育っていくものですから。この問題についても配慮していただければありがたいと思います。

三浦町長　堀田委員長さんはいかがですか。先ほどご挨拶の中でも触れられておりましたが、例えば修文とか。

堀田委員長　きちんとまとめられているのではないかなと思います。ただ、これが計画倒れに終わらないで、本当に実行されて、青少年の健全育成や幼児教育の充実、そして高齢者世代についても医療に頼りすぎることなく元気に生活できるように取り組んでいて欲しいと思います。

三浦町長　水野委員さんは。

水野委員　私の関心から言うと、目標の1, 2の辺りなんですけども、1つは純粋な疑問として、「国際化に対応した教育の充実」というのが「(教育) 環境」に入り、「情報化に対応した教育の推進」は「学校教育」に入る。ここはちょっと疑問に思いましたが。

三浦町長　「情報化に対応した教育の推進」が学校教育に入っていると。その振り分け方ですね。

水野委員　はい。A L Tを確保するという意味で「環境」に入っているのかなとも思ったんですが。それが1つと、今回の三種町の方針の大枠として「創造する」「生き生きとした力」それから「地域と一体となって」「総合的に」という言葉がたくさん出てきていて、私はそこが三種町らしくてすごく良いなと思いました。この三種町をどう活性化していくかというテーマにも合っていますし、地域の若い人たちの力が有機的に繋がっていくようなイメージが出来上がることが大事だと思いました。そういう大きなテーマがあったときに、基本目標2「教育環境の充実」。そこがいろんな意味で大事な部分だと思うのですが、そこで協働

をどう作り上げるのか、一体感をどうやって作り出すのかという部分で具体的なものが無いのかなと1つ思いました。実際、子どもたちも巻き込みながら、どうやって具体化していくのかというのが少し見えにくいのかなと思いました。難しいことだと思いつつ。

三浦町長 水野委員さんが言われたのは、「家庭・学校・地域が一体となって」というのは、具体的にはどういう形で表れてくるのかということですね。

鎌田教育長 水野委員が言われたことは、その通りだと思います。ただ、大綱ですからこれで良いと思います。取組方針の中身については、また別に考えていかなければならないと思います。取組方針の1つ1つについて、この場で決めていくとなると、かなりの数になりますから。

三浦町長 これは言ってみれば精神的な部分でございますので、個別具体的な列挙ないし提示という訳にはいかないと思います。基本目標として1から7までありますが、基本的にはこういう方向でやっていきますという形でまとめるということですね。

堀田委員長 あと、小学校、中学校とか、それぞれの当事者が話し合って考えながら深めていただければ良いのかなと思います。

三浦町長 鎌田教育長はいかがですか。

鎌田教育長 先ほどお話ししたように、大綱としてはこれで良いのではないかと思います。取組方針については、それぞれの立場で計画を練っていくことになると思います。

三浦町長 それでは、教育大綱につきましては、案をとりましてこれで決定ということでよろしいでしょうか。

(「はい。」の声あり。)

三浦町長 はい、ありがとうございました。

それでは、(2)のその他ということで、事務局からお願いします。

嶋田次長 それでは、町長と委員の皆さんには事前に資料をお配りしています小中学校の今後の在り方に関しての意向調査についてでございます。まだ、最終のものではありませんので、資料は非公開とさせていただきます。

(暫時、資料の内容について説明)

資料の内容については以上ですが、アンケートに書かれたご意見などを全部拾い上げたかたちで、改めて教育委員会で確認

していただいた上で、最終的な集計を行いたいと考えています。

なお、集計の過程で、例えば、選択した回答と矛盾するよう意見が書かれているものもあつたりと、単純に集計できない状況もございまして、中身をじっくり精査しながら作業を進めていきたいと思っています。今日は、この後、そういう心積りでお願いしたいということで、参考までに資料をお出し致しましたので、よろしくお願い致します。

三浦町長 これを見ると、統合すべきという意見、小中一貫校という意見、その他色々な意見があるんですね。

嶋田次長 色々な意見があります。私も集計していて、まさか一貫校という意見が出てくるとは思っていませんでした。知っている人もいるんだなと。

堀田委員長 新聞などにも出てきますからね。

三浦町長 義務教育学校というのもありますね。

嶋田次長 いずれ、実際に回答下さった方の人数と回答の数が合わない場合もあって、1つだけ回答いただく設問に2つ、3つ回答してあるものもあります。それをこちらで選ぶ訳にもいきませんので、全部そのまま出していきたいと思っています。

そういうこともありまして、議会に対しても時間が掛かるので、少し待って下さいというお話はさせていただきました。

私の方からは以上です。

三浦町長 これについて、皆さん何かございませんか。

佐々木委員 アンケートする方も大変だと思いますが、答える方も途中で意見が変わることだってあるんですね。一貫校の話もあるし、色々なことを考えて判断するというのは非常に難しいんじゃないかと思うんですね。データ数から言えば多少不安な要素もありますが、ただ少ないデータであってもそれは1つのデータとして参考にしていくということで、出来る限り正確にしていく必要があります。いつになるか分かりませんが、きちっとした形で出した方が良いのかなと思います。

三浦町長 山本地区の回答数ですが、森岳地区が187で同じ位の数が金岡地区から出ている。たぶん人口だとか世帯数は倍まではいかないと思いますが、かなり差があるはずです。それから下岩川地区が99。やはり関心が高いんだと思います。

堀田委員長 いろんな面で考えると、山本地区の場合は、もし1つになるとすれば、森岳地区になる。そうすれば、森岳地区の人たちは気楽に考えている。金岡と下岩川の人達は、もし学校が無くなったらどうしよう、そういう立場で書かれているのではないか

と推測しています。

三浦町長 八竜地区の鵜川地区と浜口地区は、大体同じ位でして、将来統合するとすれば、大体地区の真ん中で八竜中学校辺りでしょう、そういう感覚だと思います。

堀田委員長 その地区で特色が表れていますよね。琴丘地区であれば、既に統合は終わっているし。

佐々木委員 今回、小学校と中学校でごちゃごちゃになっている面はあると思います。ただ、分けてやるのもどうかと思います。小学校の統合が終わっている琴丘地区であれば、中学校を想定して書かれている方が多い気がします。

三浦町長 例えば、中学校を1つに統合するとすると、相当広いエリアになりますよね。朝スクールバスが何台も並ぶことになると思います。

佐々木委員 バスの管理だけで大変になりますね。

三浦町長 地下鉄があって、バスがあって、公共交通が整備された所は良いんでしょうけども、ここはバスか自転車、家族の送り迎えしかありませんからね。高校生の親なんかも大変でしょう、朝晩迎えに行って。

このことについては、まだ突っ込んだ話が出来ないようですので、その他に何かございませんか。

先ほど、堀田委員長が卒業式のお話をされていましたが、私も琴丘中学校の卒業式に行きましたら、卒業生代表が大変立派な挨拶をしておりまして、思わず拍手をしてしまいました。

それから湖北小学校にも行きましたけども、生徒さん方が、将来こういうふうになりたい、こういう勉強をしたい、とはっきり意識しているんですね。昔はケーキ屋さんとか看護師さん、花屋さんとかでしたけども。

堀田委員長 浜口小学校でもみんなの前でやっていましたね。あまりにも返事が立派で、自信に満ち溢れておりました。

三浦町長 何か皆さんの方で話題提供ございませんか。

今学校現場では、朝学習というのをやっているんですか。

鎌田教育長 朝読書でしょうか。

堀田委員長 読書は昼だと思います。5時間目が始まる前だと思います。ドリルとかだと思います。帯の学習がすごく増えましたね。漢字の時間とか、計算の時間とか。そういうのを経てから1時間目が始まるようです。

鎌田教育長 英語が週3時間の教科になるんですが、そのコマをどこに置いたらいいか。それを3日でやるのではなく、毎日やらなければ

ば駄目だということで、時数を毎日に割り振るんですね。

三浦町長 45分授業ではなくて、もっと細かくするということですか。
鎌田教育長 1日20分を5日間やるとか。そういうふうにしたらどうかという話も出ています。

三浦町長 それは県の指導ですか。
鎌田教育長 いいえ、学校独自に出来ようになっています。今もやっています。例えば、中学校であれば50分の授業ですが、1単位を10分ずつ5日間に割り振るといったようにです。

三浦町長 私もインターネットで検索していたら見たことがあります。中学校の英語で3日間は1コマ45分の授業をやって10分ずつの短い授業を5日間やっていると。

鎌田教育長 そうすれば50分ですから1単位になるんです。
堀田委員長 時間は短いんですが、日々積み重なっていくということです。学校の校時区分が以前と変わってきています。

三浦町長 英語をやるのは何年生からですか。
鎌田教育長 5年、6年です。小学校は45分授業で3時間です。
三浦町長 先生方も大変ですね。免許も持っていないでしょうから。
鎌田教育長 免許を持たせるんです。免許を持っていないと教科はできませんから。英語が教科になれば、英語の免許を持っている先生が小学校に入ることになります。それがなかなか難しいので、小中一貫校であれば中学校の先生が小学校でも教えられるということになります。

三浦町長 授業の準備もまた大変じゃないでしょうか。中学校2年生の授業を見ましたが、皆さん良く工夫をされていて、今日の目的とか段階を踏んで、きちんとその通りやられていましたからね。

鎌田教育長 ですから、先生方の週の時間を少なくして空き時間を作って、その時間で授業の準備をなさいと。そうしないと1時間きちんと授業が出来ないよと。準備の時間が無い学校は、とにかく忙しい。放課後9時、10時まで残って次の日の準備をすることになりますから。

三浦町長 1時間の授業をするのに5時間掛けるといった話も聞いたことがあります。

鎌田教育長 私たちの時代は、3時間準備すれば1時間授業が出来ると言われていましたが、今はもっと必要なんじゃないかなと思います。だから、財務省と文科省で先生の数減らせとか綱引きやっている訳ですが、やはり先生の数確保できなければ大変です。

三浦町長 大変でしょうね。

堀田委員長 まして、複式学級になりますと、1人で2学年の準備をしなければいけないので非常に大変だと思います。やり繰りはしているんでしょうけれども。

嶋田委員 英語の授業のことですが、時間を細切れにすることによって効率というのはどうなんですか。

鎌田教育長 分からないですが、偉い先生方は、週に3日とかではなくて、毎日やらなければ駄目だと。15分でも20分でも毎日時間を取ってやった方が効果があるんじゃないかと考えています。

堀田委員長 毎日英語漬けになるから、割と良いんじゃないかと思います。

佐々木委員 先生方も大変ですよ。15分の授業をやるためにどう工夫するか。その他に45分の授業もあるとすれば。

嶋田委員 集中できますかね。

堀田委員長 発音の練習をする分には大丈夫なんじゃないでしょうか。

鎌田教育長 初めてのことなので、色々な問題が出てくるんじゃないでしょうか。

堀田委員長 やってみなければ分からない。でも指導者の方が間に合うのかという心配がありますね。英語の免許を持っている方がそんなにたくさんいるのか。今の小学校の先生方は、まず殆ど持っていないでしょうから。中学校から降りてくるといっても。

佐々木委員 降りてくるといっても中学校の授業もありますし、やはり英語の先生が足りないと思うんです。一貫校だから良いというのも違うと思うんですね。

堀田委員長 県の研修会のときも話がありました。指導者が足りるかどうかに対応に苦慮していると。

三浦町長 何時間か講習を受けると仮免許のようなものを貰えるとか、そういうものはないのですか。

堀田委員長 大学在学中に、英語は何時間とか、小学校も中学校もやってはいると思います。それに少し上乗せすれば貰えるのかどうか、その辺はちょっと分かりません。

三浦町長 英語の教授法とか指導法だとかというのはとってないかもしれませんが、中高大と勉強している訳ですから問題無いと思うんですが。

堀田委員長 大学は英語が必修になっていますよね。

三浦町長 職員の海外研修でフィンランドに行きましたが、フィンランドの言葉は、インド・アリア系ではないんですね。ウラル・アルタイ語族、いわば日本語と同じようなもので、ヨーロッパ言語とは違う訳ですね。イタリア語とかドイツ語とかは語順さ

え違わなければ英語と同じようになりますけども、フィンランド語は違いまして、割と日本人と同じような感覚なんですね。教え方は言葉の正確性よりは慣れるということを主体にして小中学校で教えていました。発音が良いとか悪いとかではなくて、意思を伝えるということです。

三浦町長

ところで、教員の異動発表はあったんですか。

鎌田教育長

明日内示で、明後日新聞発表です。

今は中央地区からはあまり来ないです。学校統合とか色々なことがあって、先生方の動きも大きく変わってしまいました。八峰も統合がありましたけども。

三浦町長

前は、この辺の先生が鹿角の方に行ったりしていましたが、今はそういうことはないんですか。

鎌田教育長

向こうも例えば合川は4つあった小学校が1つになったりと統合が進んできて、地元の先生で間に合うようになってきたんです。向こうも足りなくないんです。昔のように中央管内からは来ていません。

嶋田委員

前は、琴丘地区は8割位中央から来ていました。

鎌田教育長

秋田市の先生が多いものですから、南秋に来て、男鹿に来てというふうに押されてきて、この辺りから北秋の方に行く先生も10年位前は多くいました。

堀田委員長

ここ5、6年で本当に変わりましたね。2回目の統合が始まってきていますので。

鎌田教育長

能代山本で小中52校あったんですが、今33校です。二ツ井は小学校が7校から今1校になっていますから。

三浦町長

昨日能代市で合併記念式典があって行ってきましたが、その中で紹介ありまして、二ツ井の校舎に22億円掛けているんですね。

鎌田教育長

私は常盤の学校に行っていましたが、常盤で20億円です。東雲は35億円。あの当時で、木材がRC（鉄筋コンクリート）の1.5倍掛かっていました。今は木材で造れば補助も来るし、金額も安くなってきましたので。

三浦町長

今も木造校舎のブームは続いているんですか。

鎌田教育長

木造でやれば今はあまりお金が掛からなくなってきました。RCとあまり変わらないと思います。

堀田委員長

木造の方が長持ちするんじゃないですか。

鎌田教育長

昔の木造とは違うのかもしれませんが、RCだと20年で大規模改修が必要です。今は昔と違って密閉されている木造ですからおそらく昔のようには長くもたないんじゃないでしょうか。

昔の隙間風の入る木造であれば長くもつんでしょうけれども。
三浦町長 今年は140周年記念の学校もあるんですよね。下岩川小学校でしたか。
堀田委員長 そうですね。
三浦町長 それでは、この後教育委員会もあるということですので、総合教育会議の方はこれで閉じさせていただきたいと思います。どうもお疲れさまでした。

午後2時55分閉会

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

三種町長 _____

署名委員 _____